

をはじめる人をきめます。その人は次々と新しいのを考へて動作をすると皆はその人の眞似をするのです。ところがその眞似をする時、鬼は誰が一番はじめに始めてゐるでせうとさがすのですから、その人の方をみない様に又新しく變つた時はなるべく早くさつて變へる様にするので、仲々鬼がわからないで面白いわけです。

こゝは何處の(どなたの)細道ぢや あまり今頃はみない遊びですが、昔しのぶ、ゆかしい遊びの一つでありませう。

○こゝは何處の細道ぢや

× 天神様の細道ぢや

○ちよつと通して下さんせ

× 御用のないもの通しません

○この子の七つの御祝ひにお札をおさめに参ります

× 通りやんせ〜 行きは好い〜

歸りはこわい。こわい

ながらも通りやんせ〜。

天神様の細道を作る人二人、お母さんと七つの子になる人。これは二人づゝ、幾組もあつてよろしいわけです。

○は親子が言ふ言葉で×は細道を作る人が言ふ言葉です。行く時はすーつと通しますが今度歸りは、用心して、通らぬと、細道をつくる人はその人をぶちます。ぶたれぬ様、すきをねらつて通るわけなのです。ぶつと言ふ事はあまりよくありませんから、細道を作る人はトンネルを作つてそこをおとして圍む様にした方がよいのではないかしらと思ひます。

遊 戯

古澤 静子

身心共に高い空に向つてぐいぐい伸びて行きます。子供等の愉快な歌聲は、園庭に遊戯室に生氣に満ちた響きをもたらします。

季節のリズムにのつて、もう六月が訪れて参りました。その中にあつて幼児の全生活は或一定のリズムにのつて形作られ、又このリズムに支配されて發育いたします。殊に彼等の身體運動の一つ、或は口づさむ歌曲の一つに、大切なリズムのある事は忘れられません。子供の歌は、専門的技巧はなくとも、常に正しいリズムと正確な音程によるものでなければならぬ。とは、今更申すまでもない事でありませう。

次におげます「みちぶしん」「ギョウバツタン」「オフネ」「水あそび」等、何れも四拍子、二拍子の活動的な遊戯に於きまして、潑刺とした手足の動きは更に、正しいリズムと音程を持つた歌曲と渾然一體となつた時、一層快感を味はひ得るものと思ひます。

「貝拾ひ」 最新作曲幼稚園唱歌集所載

干潮に乗じて熊手やシヤベルで貝堀りをする事は、都會の子供にはあまり關係のない事でありませうが、それだけに却つて興味ある事でありませうし、海邊の子供達には、楽しい行事の一つに數へる事が出来ませう。

全生、波と子供に分れます。

「一小節——四小節」

全生二組に分れ、各組は二列横隊になつて、一方を波、一方を子供と云ふ様に區別して向き合ひます。間隔七米位。

波の列は、連手して兩手を前振後振しながら、一小節に四歩前進、次の一小節で四歩後退します。四小節目に反復記號がついて居りますから、四回前進後退する事になります。この小節は、ppスタッカットで波の響きは遠く近く、強く弱く聞えて居ります。

子供の列は、波がチャップ／＼音をたてゝある間、そのまゝその場に腰を下し、自由な表現で貝を拾ひます。兩手で砂をかき分ける人、掘る人、籠の中に入れる人、様々な貝掘り風景です。

「五小節——八小節」

波は連手したまゝ、子供達のある岸を目かけて走り出します。

子供達は身をかわして、後方に駆足で逃げます。

fアルペジオ。半音階的上行によるピアノの音は、突然押寄せた、すさまじい波の音に聞えませう。

八小節目に波は、連手を上より前に下し、上體を前にかゞめませう。さぶーんと岸に打ちかへしたところ。

「九小節——十二小節」

波は連手のまゝ、駆足で後退し、前方に逃げた子供達は、駆足で再び元の位置にもどります。波を追ひながら。

後奏は、始めの四小節の繰返しになつて居ります。

波と子供を交代して何度も繰返して行ひます。

「オフネ」 幼稚園唱歌選集所載

十人一組で縦隊に並び、腰を下して兩足を前に出します。

「オ舟ハギツチラコ／＼／＼」

兩手を握り櫂を持つて二呼間に一度漕ぐ、即ち兩手を前に出し、上體を前に屈け、兩手を體前に引き寄せると同時に上體を起こします。

繪本で見たり、舟に乗つた事はあつても、櫂を握つて實際に漕ぐ事は始めてでせう。各自の懸命な努力と全體の一致協力に依つてよく進みます。

「波ニ揺ラレテユラ／＼動ク」

兩手を前の人の肩にかけ、二呼間に全生一組に體を左右に振ります。

私共は舟に乗つてゐると同時に、ゆら／＼揺れる波であるとも云へませう。

「オ舟ハ本當ニ面白イ」

左手で二呼間に二回左の床をたゞき、次の二呼間に右手で右床をたゞきます。次の二呼間に四拍手します。

その動作二回繰返し。

「ギツチラコ／＼／＼」

二呼間に一度づゝ漕ぎ、最後に兩手を前より上に挙げ後に下し、頭を後に下げて空を見ます。胸を張つて頭を一つと下げてみませう。いゝ氣持でせう。

始めから終りまで、上體を全屈して力一杯漕ぎ、しかも全體よ

く揃つて滑げる組が一番よく進む様です。

『ギツコンバッタン』 幼稚園唱歌選集所載

二人組んで向き合ひ。全隊形は自由。

「ギツコンバッタン面白イ」

二人向き合ひ、二呼間に右手と左足(踵をつけて、爪足を上げ)を前に出し、お互に前の人を指さしては、手と足を元に戻し、次の二呼間で、反対の手と足を出し、交互にこの動作を行ひます。

「上ツタト思へバ又スゲ下ル」

四呼間に一生は立つたまゝ頭上で拍手し、二生はしやがんで、そのまゝ拍手。次の四呼間には、一生と二生交代し、一生は坐つて拍手し、二生が、立つて頭上で拍手します。

「下ツタト思へバ又スゲ上ル」

再び一生と二生が交代し、以上の動作を繰返します。

「ギツコンバッタン面白イ」

二人向き合つたまゝ、両手をつなぎ、又スキップで圓く廻りま

す。

おや／＼、両方共下つてしまつたギツコンバッタンがあります。どうしたのでせう。一方が高くなると、一方が低くなる。高い人が低くなると低い人はぐんと空に上るギツコンバッタンを御存知でせう。前の方と反対に立つたり坐つたり致しませう。お

手々を高く擧げてたゞきながら。お空までどゞきせうです。最初は、二列横隊で向き合つて同列同時に、同じ動作を行ふと、

交互にする動作も容易に體得出来ませう。

『みちぶしん』 幼稚園唱歌選集所載

隊形自由。動作は、一節より三節まで同じ。

「前奏の間」

各自ツルハシを擔いで、自由な方向にスキップで出かけます。ツルハシを御存知ですか。工夫さんが大聲で調子を合せながら振り上げては打ち下すツルハシを。工夫さんは力一杯振り上げて居ります。重そうですね。両手にしつかり握つてゆきませう。

「一小節——四小節」

自由な位置に止まり、二呼間でツルハシを持ち上げ次の二呼間で打ち下す。即ち両手を握つて右上に振り上げては、土に打ち込む動作をいたします。

重いツルハシですから、全身を使用しなければ、臂の力のみでは充分に振り上げる事も、打ち下す事も出来ませう。兩足を踏みしめて、両手を出来るだけ高く持ち上げ、ぞしんと土にぶつけて下さい。

「五小節——八小節」

シャベルで土を掘りかへします。

両手を握り、左足を床を打ちながら、二呼間に一度づゝ前方を掘る様に、両手を上下に動かします。

「九小節——十二小節」

最初のツルハシの動作を行ひます。

「十三小節——十六小節」

シャベルの動作を行います。

前奏は間奏として次の節の前に挿入し、その間に又自由な方向へスキップで散ります。

形のない道具で作業をするのですが、徒らに空間に於ける兩臂の上げ下しに終つてしまふ事なく、全力で仕事をすれば、終りには、臂や顔に、尊い汗がにじみ出るでせう。本當の工夫さんの様に、右側に道具を持った方がよいと思ひます。元氣な聲で歌ひ調子をつけながら致しませう。

『みづあそび』 幼稚園唱歌選集所載

隊形、圓形

「シュツ〜〜〜水鐵砲」

全生圓内を向いてしやがみ、掌を外側に向けて軽く握り（水鐵砲）その中に水を入れる様に、右手を握つて一呼間に一度づゝ臂を上下に動かします。

「上ツテ落ちル」

兩臂を上へ舉げ、水を押し上げる様にしながら一呼間に一度づゝ右手を上下に動かします。

「植木ニ落ちル」

再び下へ向け、植木にかける様、一呼間に一度づゝ右手を動かして水を出します。

「高ク上ツテ又落ちル」

二呼間に立上つて、兩手を前より上に舉げ次の二呼間で兩手を前より下して後に引くと同時に膝を全屈します。同様の動作を

も一度繰返します。

「スーースーースーおもちゃ舟」

全生左を向き、指先を伸して兩掌を合せ、前方に押ししながら一呼間に一歩づゝ進む。

「帆カケテ走ル」

手は合せたまゝ、頭上へ上げ、同方向に踵足で走ります。

「水切ツテ走ル」

再び兩手を合せたまゝ、低く下して走ります。

「風が當ルト又走ル」

兩手をそのまゝ、又頭上に舉げスキップで、圓周に沿つて、走ります。

冷たい水が懐かしい頃になりました。水鐵砲に入れた水は、高く低くすーすーと元氣よくかけて下さい。玩具の舟もすい〜と氣持よく走つてゐます。

『雨』 幼稚園新唱歌所載

隊形、圓形で圓心を向く。

「雨が〜降つてゐる」

二呼間に一度、左（右）手を伸して前より上に舉げては下し、次の二呼間に同様右（左）手を前より上に舉げて下し、この動作を左右交互に繰返します。

雨は、お空の高い所から落ちて來るのですから、胸を張つてお手々が空にとどく迄、膝をぐつと伸ばしてみませう。踵を上げても結構です。

「聞いて御覽よ音がする」

こゝまで始めの動作を續けます。

「ピチ／＼パシヤ／＼音がする」

頭をかたむけ、左又は右の耳の側で拍手しながら各自の廻りを一廻り致します。

可愛い兩の音が聞えませう。

「ほーらお池に降つてゐる」

二呼間で踵を擧げると共に兩手を伸ばして前より上に擧げ、次の二呼間で兩手を前より下して後にひくと共に、膝を全屈します。従つてこの動作を二回繰返すことになりす。

「金魚はどうしてゐるかしら」

全生お互に、兩手を隣生の肩にのせ、圓心に進み、最後の小節「ら」の時に、上體を前方にかゞめて、池の金魚を覗く様な態勢を作ります。

この時は、皆揃つて、そつと見に參りませう。大きな音をたてると金魚達が驚くでせうから。

「雨が／＼降つてゐる、聞いて御覽よ音がする」一節と同じ動作。

「ほつ／＼／＼音がする」

右手を握つて左掌をたゞきながら（一節と同様耳の側で）各自の廻りを一廻り。

「ほーら八ッ手に降つてゐる」

一節の「ほーらお池に降つてゐる」と同動作。

「晴れたら葉つばが光るだらう」

左(右)の方を向き、兩掌を開いて、最初二呼間、顔前でキラ／＼動かし、次の二呼間兩手を下して正面を向きます。次に、反對の方向に同様動作をして最後に正面を向きます。八ッ手の葉つばの様にお手々を開き、葉つばがキラ／＼光る時皆さんのお顔もニコ／＼輝いてゐるでせう。

「幼兒體操」(ハトボツポの體操)

皆さん揃つて、レコードやピアノに合せ、各部の動作は、ものまね とか あなたのまね で、特に練習する事が出来ませうが、自然な大きな動作でいたし度いと思ひます。

観 察

軍艦(繪又は寫眞による)

清 水 光 子

繪や寫眞によつて觀察をさせてよいとするのは觀察本來の意義からは願はしくないことが言ふまでもなく、止むを得ない場合の他は實物を觀、それで遊ぶことにし度い。これは止むを得ない場合の一つだと言つてもよく、又そこに別の意味も加つて來るが實物の場合とは取扱ひにも違つた注意があらう。まづ正確な、新しい寫眞や繪であることが勿論望ましい。大東亞戦争が始つてからといふもの軍艦について皆の關心が昂つてゐるからこの海軍記念日には特に氣をつけた取扱ひなし度いものである。出來れば黒板や壁にはつてみんんで見られるやうな繪か寫眞を用意して子ども達と一しよにはり乍らみて話合ふ。大人の及ばない軍艦通があつ